

「 $\mathrm{T_E}X$ ユーザの集い2010」は、 $\mathrm{T_E}X$ に関する研究・開発や活用例・作品例について発表すること、($\mathrm{T_E}X$ に限らず)編集・組版・印刷について理解を共有すること、 $\mathrm{T_E}X$ を扱う技能を向上させること、参加者同士で交友を深めることなどを目的として開催することになりました。

昨年の「 $\mathrm{T_E}X$ ユーザの集い2009」は、(実行委員会の知る限り) $\mathrm{T_E}X$ の名の下に国内でユーザ・開発者が集まるひさしぶりの機会です。113名の方にご参加いただきました。参加者のうち79名からご回答いただいたアンケートを元に、今年は昨年に比べて多種多様なセッション——ポスター発表、パネルディスカッション、企画「出張! $\mathrm{T_E}X$ Q & A」——を加えています。それぞれにお楽しみいただけるものと願っています。

この1年間を振り返ると、電子書籍についての話題が世の中を席卷していました。バッチ処理や数式処理などの点で $\mathrm{T_E}X$ への期待も漏れ聞くところではあります。一方、 $\mathrm{T_E}X$ 界や出版印刷業界に目を向けると、電子書籍かどうかに関わり無く、世界の開発は進んでいますし、いままでの業務も遂行されています。今回の集会では、参加者間で、現在までの動向をきちんと共有し、新たな潮流へと向かう共通基盤が形成されることを期待しています。